

報道関係各位

2026年3月11日

日本キャタピラーとの共同により実現 「バイオディーゼル燃料専用バックホー」を製作

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、日本キャタピラー合同会社(本社:東京都千代田区内幸町、代表職務執行者社長・CEO:本田博人、以下日本キャタピラー)と共同で「バイオディーゼル燃料専用バックホー」を製作しました。



建設・解体・インフラ整備の現場では近年、作業量の増大や人手不足への対応に加え、脱炭素社会の実現に向けた環境負荷低減が強く求められています。建設機械の分野においても CO2 排出量削減や燃費性能の向上といった環境対応と生産性・作業効率の向上をいかに両立させるかが重要な課題となっています。

今回、製作した「バイオディーゼル燃料専用バックホー」は、日本キャタピラーの「CAT 320D」をリニューアルし、バイオディーゼル燃料対応性能を強化したバックホーです。

エンジンについては、新たに製造するのではなく、古いエンジンを再生する、リビルド製品を使用することで製造時における CO2 排出量削減にも配慮しています。環境対応にも配慮し、次世代の建設現場に対応した設計になっています。

アクティオは今後も「レンタルティンク」のノウハウを活かし、CO2 削減と生産性向上を同時に実現する製品やサービスを提供していきます。

■「バイオディーゼル燃料専用バックホー」特長

- ①バイオディーゼル燃料使用により CO2 が削減
- ②リビルド製品(再生部品)を活用し、新規部品の製造や廃棄に伴う環境負荷を低減
- ③機体左右にカメラを設置し、走行時、作業時の周囲への安全性を向上
- ④河川工事、金属リサイクル、クレーン作業など、用途に応じた専用仕様



バイオディーゼル燃料仕様の燃料ラインを装着したエンジン



左右・後方カメラモニター



右側カメラ

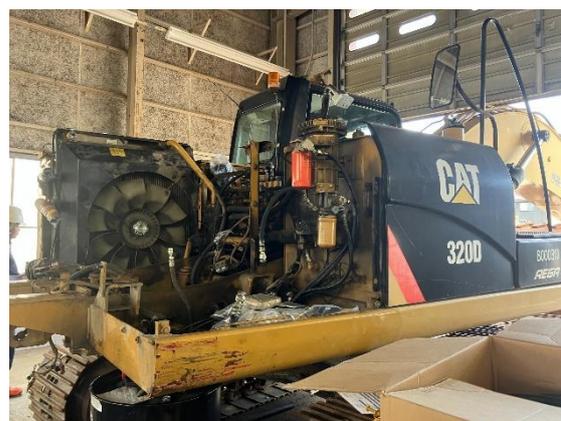


左側カメラ

■「バイオディーゼル燃料専用バックホー」のエンジン入れ替え



新しく搭載した再生エンジン



載せ替え作業風景

■スペック

呼称		バイオディーゼル燃料専用バックホー
メーカー		日本キャタピラー
型式		320D
旋回タイプ		スタンダード
クローラシュー		鉄
走行速度	(km/h)	3.5~5.5
接地圧	(kPa{kgf/cm ² })	47{0.48}
最大掘削力	(kN)	149
バケット幅	(mm)	1,100
作業範囲 最大掘削高	(mm)	9,410
作業範囲 最大ダンプ高	(mm)	6,570
作業範囲 最大掘削深さ	(mm)	6,640
作業範囲 最大掘削半径	(mm)	9,940
定格出力	(kW/min ⁻¹)	103/1,800
	(PS/rpm)	140/1,800
燃料タンク容量	(L)	410
寸法 全長 L	(mm)	9,460
寸法 全幅 W	(mm)	2,800
寸法 全高 H	(mm)	3,030
質量	(kg)	20,300

■アクティオが展開する“レンタルティン”とは



アクティオのコンセプトである「レンタルティン」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うの

か。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンタルティン。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp